

府中市環境基本計画

基礎調査報告書 (修正箇所抜粋)

令和4年2月

1. 環境を取りまく現状の整理

2. 地域概況

2.1. 自然的条件

2.2. 社会的条件

2.2.1.人口・世帯数

2.2.2.土地利用

2.2.3.産業構造

2.2.4.交通

(1) 交通網

府中市全域の交通の現況については、市の東西を横断する鉄道として京王線、南北を縦断する鉄道として JR 南武線、JR 武蔵野線及び西武多摩川線が敷設され、4 路線による鉄道ネットワークが構成される中、市内 14 駅では 1 日平均の乗車人員は約 23 万 6 千人となっている。また、コミュニティバスの路線拡大により、路線バスと併せてバス交通ネットワークが形成され、市内全域において公共交通の利用環境が整い、公共交通不便地域はおおむね解消された状況にある。

利便性の高い公共交通とともに、積極的な道路基盤の整備により、市の東西を横断する道路として、東八道路、甲州街道、中央自動車道等、南北を縦断する道路として、新小金井街道、府中街道、新府中街道等の整備が進むなど、都市計画道路は 8 割以上整備が完了し、道路ネットワークについてもおおむね形成されている。



出典：府中市都市計画に関する基本的な方針

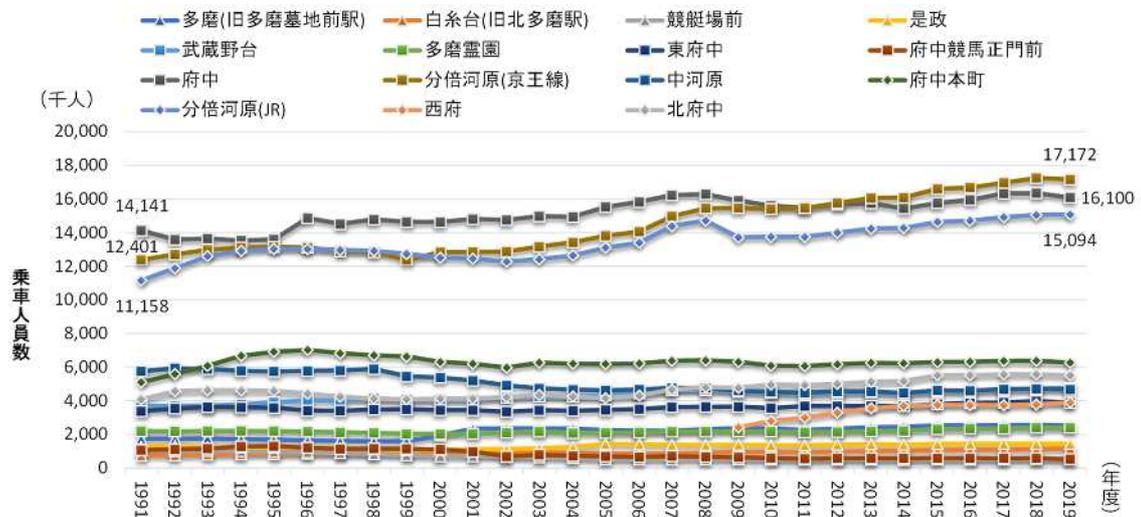
図 2.1 誰もが快適に移動できるまちづくり方針図

(2) 自動車交通

(3) 鉄道

府中市には、京王電鉄京王線と競馬場線、JR 南武線、JR 武蔵野線、西武鉄道多摩川線の5線が通っている。

2019(令和元)年度における府中市内の鉄道3社5路線14駅の年間乗車人員数は、85,969千人となった。京王電鉄の府中駅、分倍河原駅、およびJR東日本の分倍河原駅は、1991(平成3)年度以降増加傾向にあり、2019(令和元)年度は、京王電鉄の分倍河原駅が17,172千人と最も多かった。



出典：東京都統計年鑑

図 2.2 年間鉄道乗車人員数の推移

3. 各分野の現状把握

3.1. 生活環境

3.2. 地球温暖化

3.3. 資源循環

3.4. 自然環境

3.4.1. 自然の変遷

3.4.2. 水辺

(1) 多摩川

(2) 用水路

市内には、農業用水を管理する3つの用水組合があり、2020（令和2）年度時点では、各用水組合が管理しているかんがい面積は、西府用水組合は16.7ha、府中市用水組合は7.8ha、多摩用水組合は1.7haとなっている。

また、府中用水は、都内で唯一疎水百選¹に選ばれている。

表 3.1 市内の農業用水組合

団体名	令和2年度		かんがい区域	水源	取水方法
	組合員数(人)	かんがい面積(ha)			
西府用水組合	72	16.7	四谷地域・住吉町地域 南町地域・日新町地域	多摩川	ポンプアップ
府中市用水組合	47	7.8	南町地域・矢崎町地域 是政地域・分梅町地域	多摩川 地下水	自然流下と ポンプアップ
多摩用水組合	18	1.7	押立町地域小柳町地域	地下水	ポンプアップ



出典：東京都産業労働局 府中用水

図 3-1 府中用水

P134 図 3.76 河川図（再掲）を削除しました。

¹ 疎水百選とは、一般投票及び選考委員会により2006（平成18）年に全国の農業用水から選定されたものである。

(3) 湧水

市内には、府中崖線を中心に3か所（西府町・瀧・浅間神社）の湧水がある。最も水量が多い西府町湧水は、東京都の「東京の名湧水57選」の一つに選ばれている。しかし、都市化による建物・舗装の増加や緑地の減少により、地下へ雨水浸透量が減少し、湧水の水量減少や枯渇が occurring。



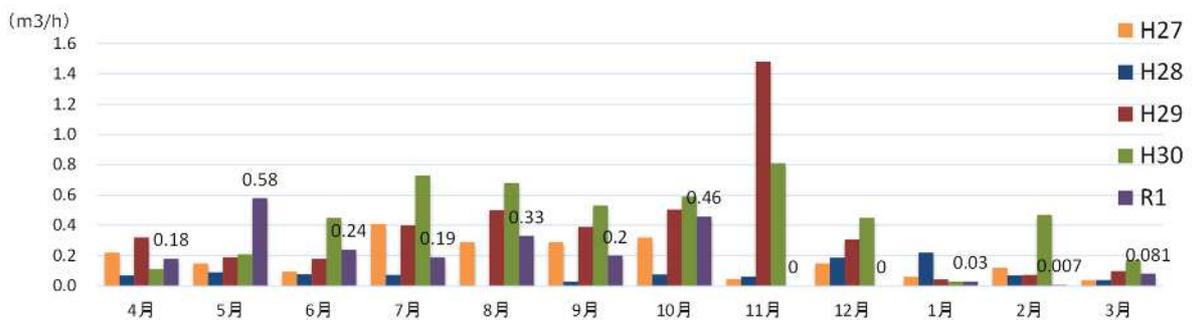
出典:東京都環境局（東京の名湧水57選）、府中市HP

図 3-2 府中市内の湧水の位置



出典：府中の環境 西府町湧水調査

図 3-3 西府町湧水の湧出量の季節変化（2015（平成27）年度～2019（令和元）年度）



出典：府中の環境 瀧湧水調査
令和元年11月12月は欠測

図 3-4 瀧湧水の湧出量の季節変化（2015（平成27）年度～2019（令和元）年度）